

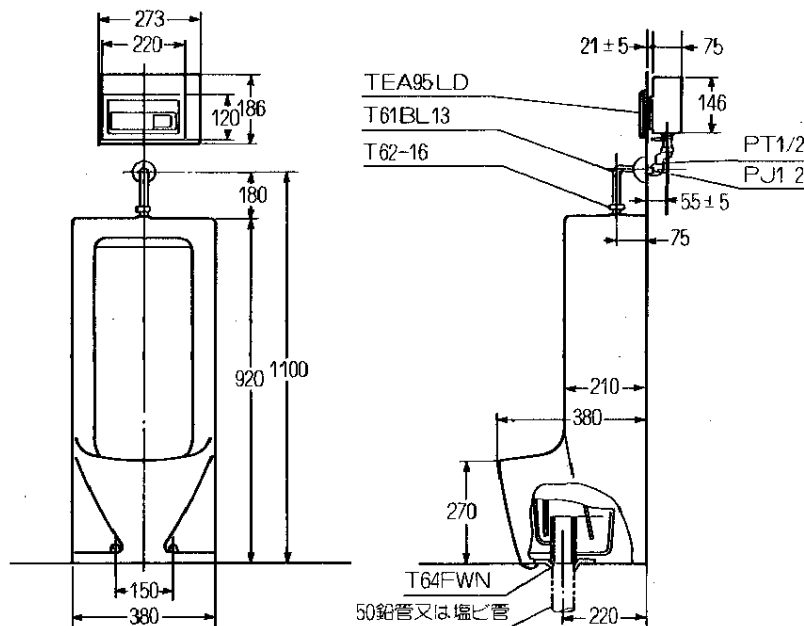
USシステムA型 感知フラッシュバルブ取付説明書

TEA95LD(在来工法壁用) TEA96LD(100×100タイル壁用)

製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。

■標準取付図(U307C+TEA95LDの例)

注) 陶器の品番により取付寸法が異なります。
詳細は工事用図面を参考の上取付けてください。



■作動のしくみ

このシステムは衛生的かつ経済的に作動するように設計されています。

①感知


- 器具から60cm以内に接近するとセンサーが感知します。
- ※通常使用中には感知表示ランプは点灯しません。



②本洗浄

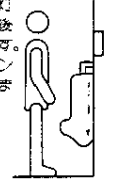
使用后、小便器より離れると小便器を本洗浄します。

- ※本洗浄タイムは1、3、5、7秒に設定できます。(タイムの設定の項を参照ください。)
- ※ランプ点灯時は2秒遅れて本洗浄します。



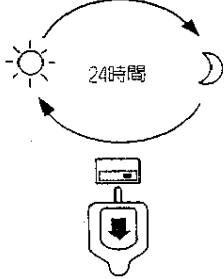
前洗浄

- 約5秒後小便器を洗浄します。
【注意】
- 前洗浄タイムは工場出荷時は0秒に設定してありますのでそのままでは前洗浄しません。
必要に応じて設定してください。(タイムの設定の項を参照ください。)
- ※前洗浄タイムは0～7秒まで設定できます。
- ※ランプ点灯時は約6秒後に洗浄します。その際にランプは消灯します。



設備保護タイム

- 長時間小便器を使用しないときは、24時間経過することによって自動的に洗浄し、小便器、排水管の乾きを防ぎます。



■仕様

項目	TEA95LD	TEA96LD
外寸	120(縦)×220(横)×5(奥行)	98(縦)×198(横)
電源	乾電池(リチウム電池)+コンテナパック	
感知距離	器具前面より60cm以内	
周囲温度範囲	0～40℃(水温は1～50℃)	
給水部接続	15A ガスねじ	
感知時間	5秒間以上(5秒未満では作動しない)	
給水圧力	最低必要水圧0.7kgf/cm ² 最高水圧7.5kgf/cm ²	
吐水量	4ℓ～5ℓ/回に調節可能	

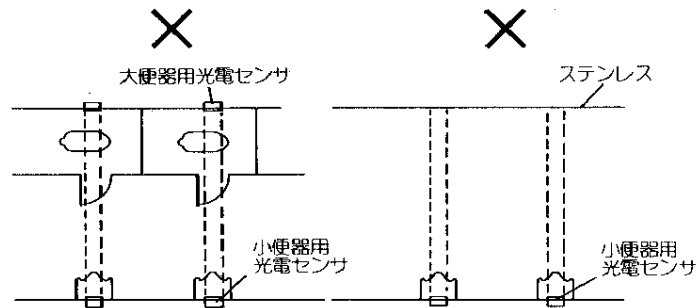
※乾電池は、長寿命のリチウム電池を採用していますので、1日100回程度の使用(前洗浄しない状態)としますとおよそ8年程度は使用できます。

■梱包明細

フラッシュバルブ部(電磁弁付).....1個
 光電センサー付カバー.....1個
 養生カバー付取付板.....1個
 脚(給水脚・吐水脚).....2個
 AYボルト・アジャスタボルト.....4個・6個入
 吸盤.....1個

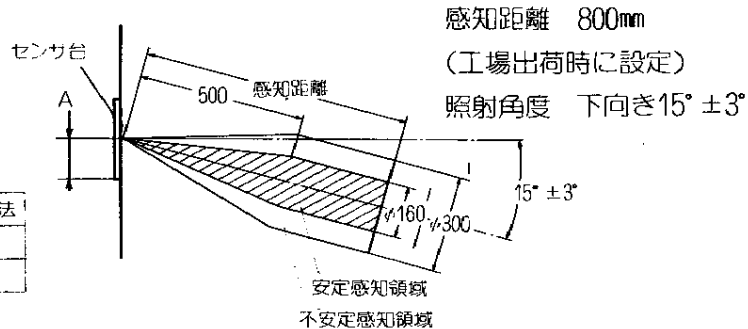
■取付け前に

- 給水圧力範囲は最低必要水圧0.7kgf/cm²、最高水圧7.5kgf/cm²です。この圧力範囲でご使用ください。
- 給水は上水道に接続してください。中水道および異物を多く含む水には使用できません。
- センサ面は傷つけないよう十分ご注意ください。
- 電気器具ですから、水をかけないよう注意してください。
- センサの照射角度及び感知距離は次図のとおりです。なお、小便器の前に手すり等を設置する場合は、光電センサの感知領域内（安定感知領域内及び不安定感知領域内）に障害物が入らないように設置してください。また、光電センサ正面の壁がステンレス等反射しやすい場所への設置や、光電センサ同士（大便器自動洗浄システム用光電センサを含む）が対向するような設置は誤動作を生じますので避けてください。



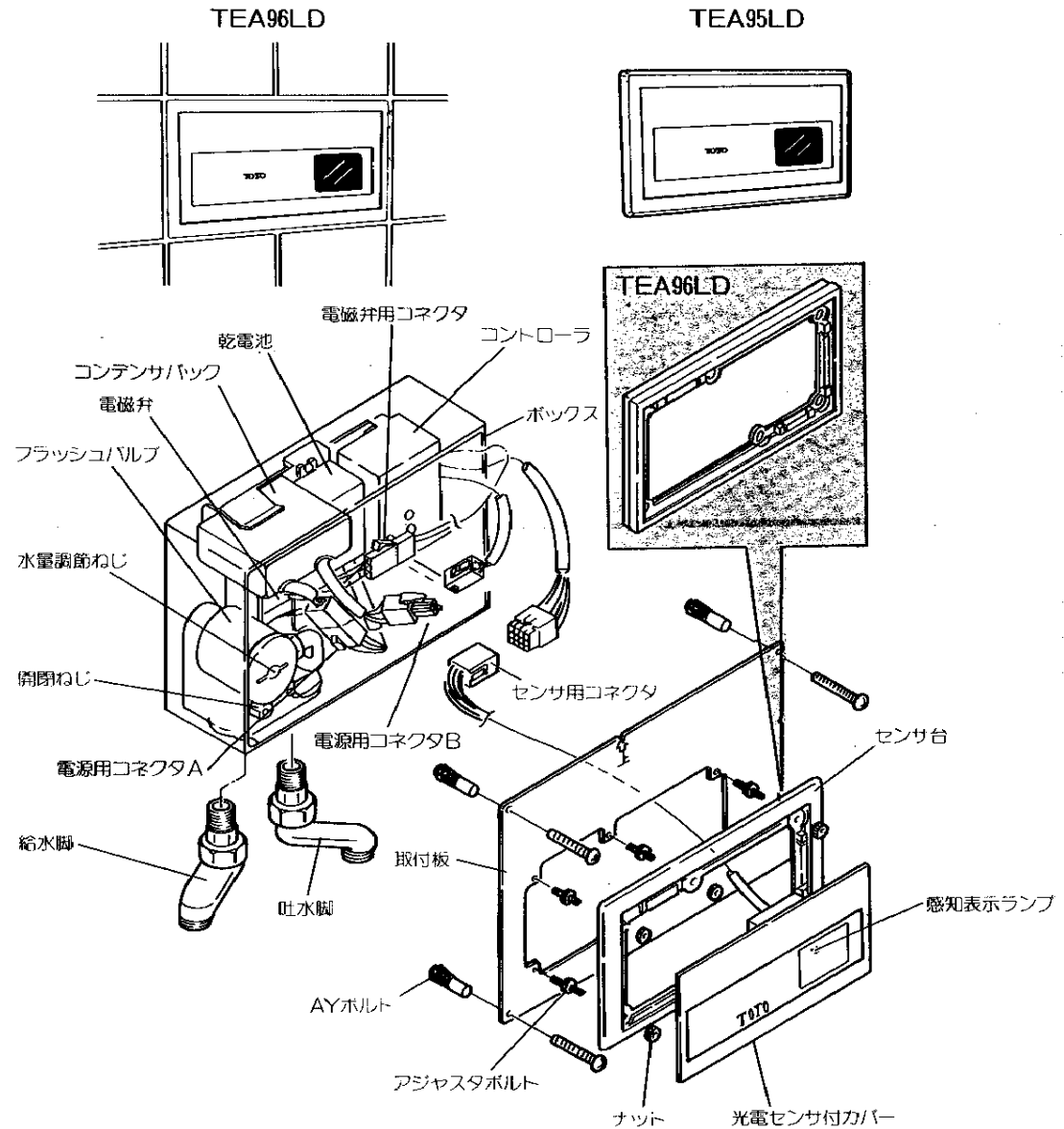
照射角度と感知領域

※白紙300mm×300mmの場合



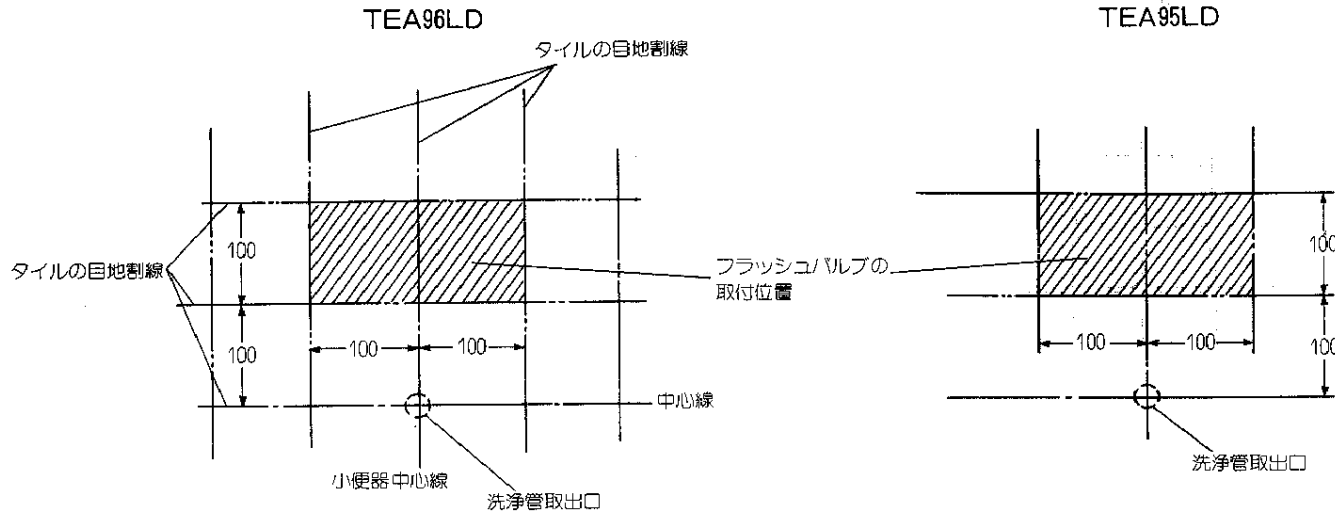
品番	A寸法
TEA95LD	50
TEA96LD	40

■各部の名称



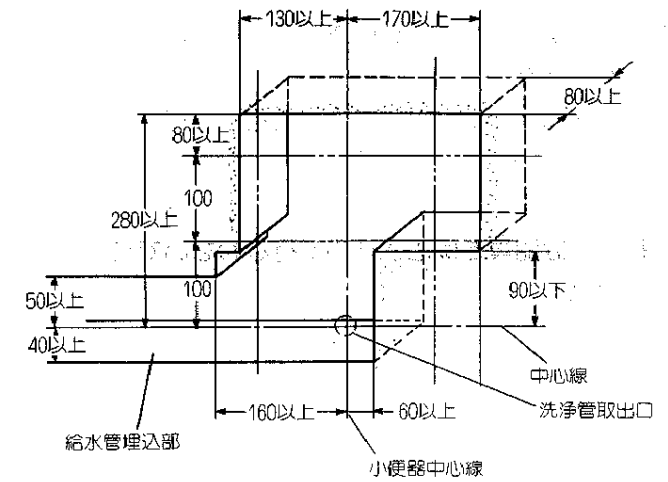
1 取付位置の墨出し

下地壁に、取付位置を示す中心線を墨出します。



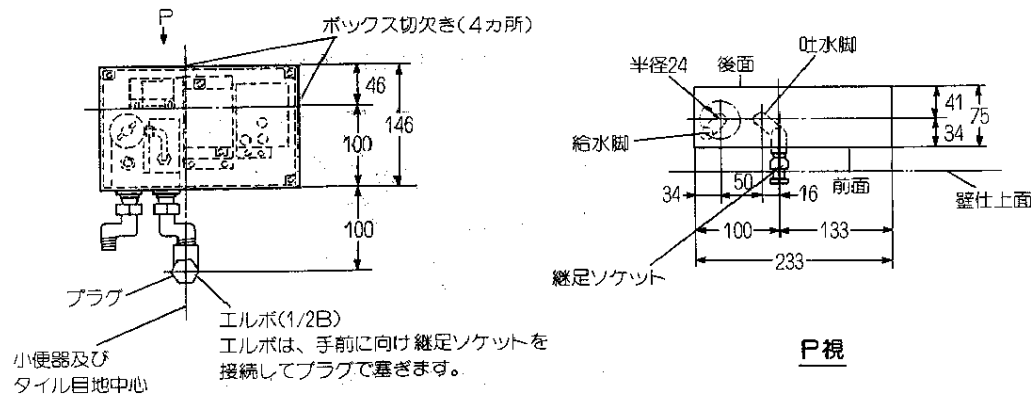
2 下地壁のはつり

図の寸法に下地壁をはつります。



3 給水・吐水脚の取付け

フラッシュバルブに給水・吐水脚を仮固定します。また、吐水脚にエルボ(1/2B)をねじ込みます。このとき、脚の向きは給水側は下図のように任意の位置に、吐水側は下図のように、ボックス切欠き部に合わせてください。



4 ボックスの位置合わせ及び給水管の接続

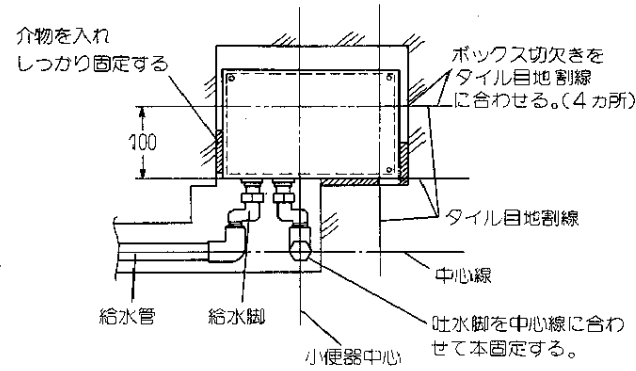
①はつた壁に器具を収め、位置合わせを行います。このとき、器具が水平になるように介物を入れてしっかり固定してください。

②給水管を配管し、給水管内のゴミ、砂等を完全に洗い流した後、給水脚に接続します。

③給水脚を本固定します。

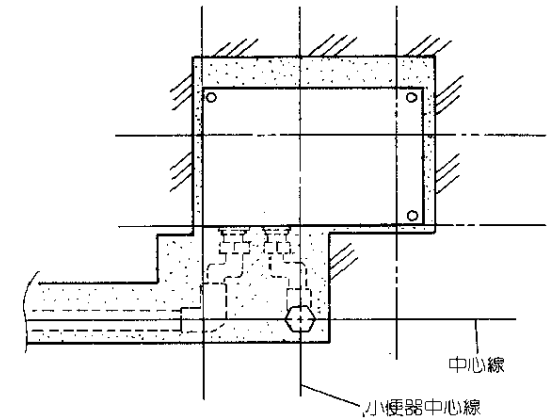
【注意】

- ボックス切欠き(4カ所)と目地割線のずれは±5mm以内としてください。もし、ボックス切欠きと目地割線がずれたときは、吐水脚をタイル目地割線に合わせて本固定してください。
- 埋戻し前に必ず埋込配管接続部の漏水がないか確認してください。



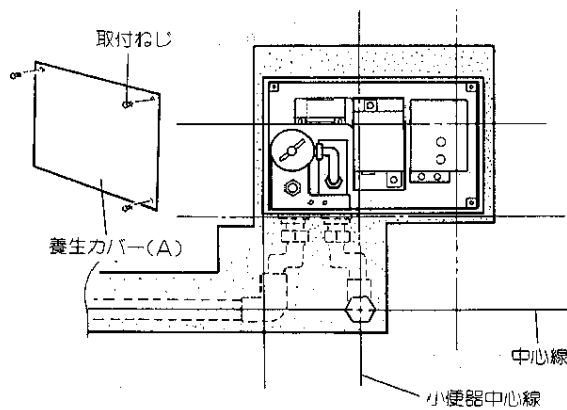
5 下地壁の埋戻し

ボックスの周囲をモルタルで埋戻します。



6 養生カバーの取外し

養生カバー(A)を取外します。

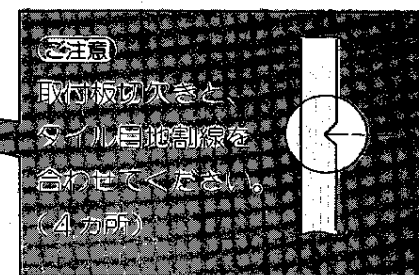
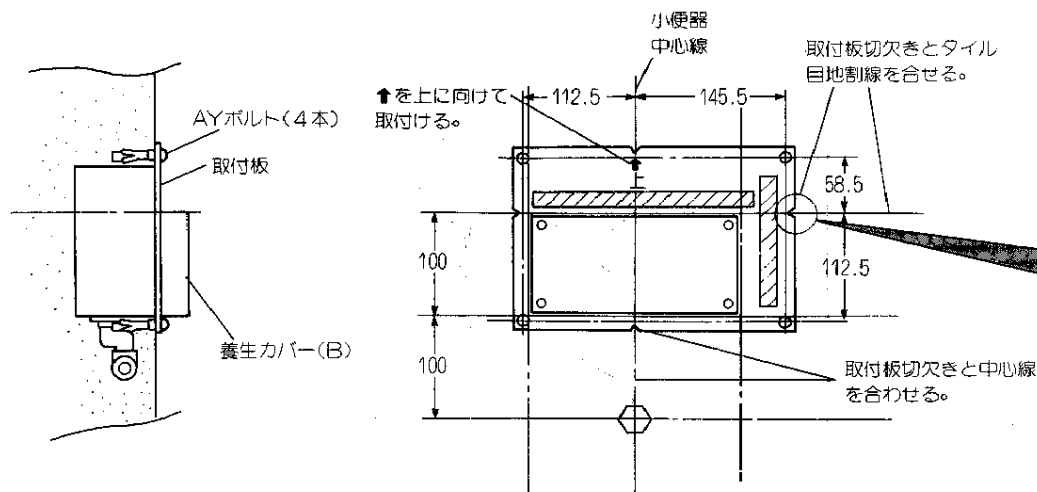


7 取付板の固定

養生カバー(B)付の取付板をAYボルト(4本)で下地壁に固定してボックスを覆います。(AYボルトの下穴はφ7.5ドリルをご使用ください。)

ご注意

取付板の取付けが狂うと、タイルが張れなくなったり、光電センサが取付けられなくなりますので注意してください。

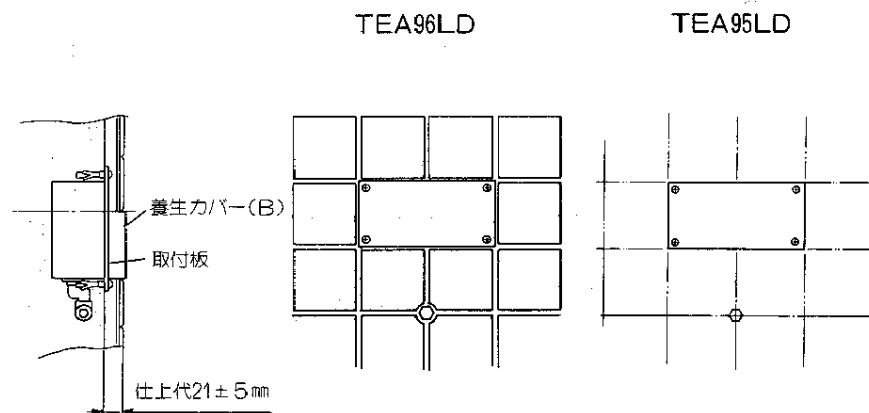


8 下塗りモルタル施工・タイル張り・目地詰め

- ①下地壁にモルタルを下塗りします。
- ②養生カバー(B)を付けたまま、タイルを張り、養生カバー(B)の周囲を除いて目地詰めします。
タイルの水洗いはこの状態で行ってください。

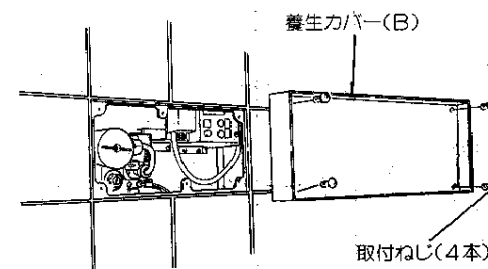
ご注意

酸洗いは器具を傷めますので行なわないでください。



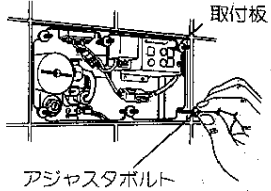
9 養生カバーの取外し

取付ねじを外して、養生カバー(B)を壁面から引き抜きます。

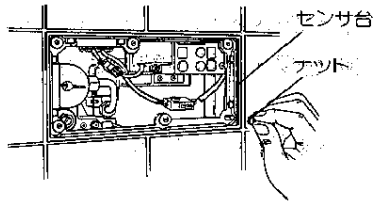


10 センサ台の取付け

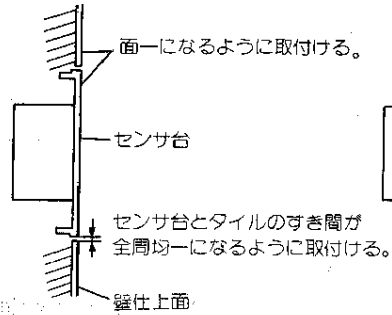
- ①取付板にアジャスタボルト(6本)をねじ込みます。



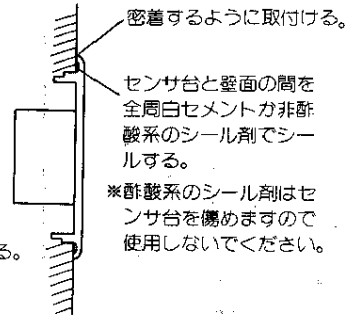
- ②センサ台をはめ、アジャスタボルトで調節した後、ナットで固定します。



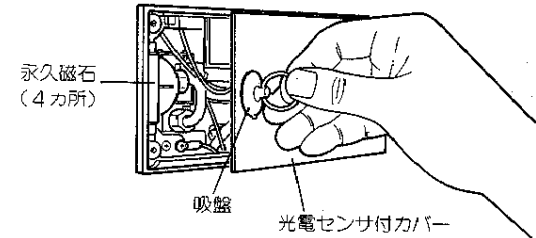
TEA96LD



TEA95LD



- ③光电センサ付カバーを永久磁石の部分に吸着させ四隅を押えてガタツキがないことを確認します。ガタツキがある場合は、図のように付属の吸盤を使って、光电センサ付カバーを外し、アジャスタボルトで調節してください。調節後は、光电センサ付カバーを外してください。

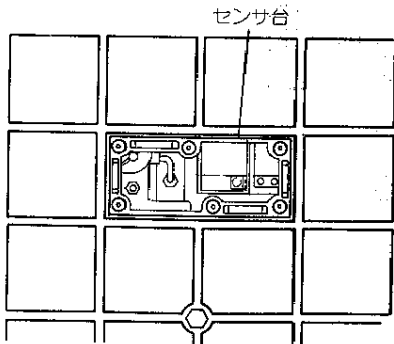


【ご注意】

- センサ台にソリが出ると、光电センサ付カバーがガタついたり器具を破損したりしますので注意してください。

11 目地詰め (TEA96LDのみ)

センサ台の周囲を白セメントか非酢酸系のシール剤で目地詰めします。酢酸系のシール剤は、センサ台を傷めますので使用しないでください。

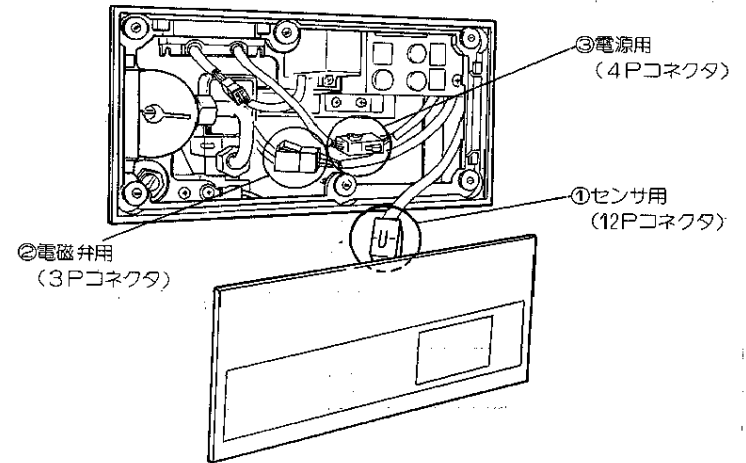


12 コネクタの接続

- 各コネクタを接続します。

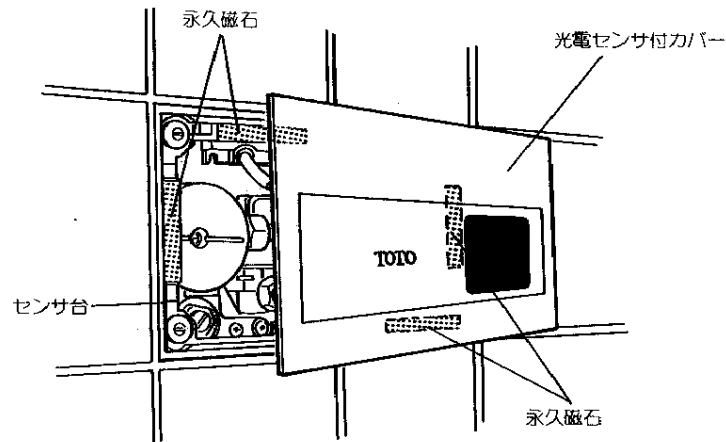
【ご注意】

- 接続後10分間は表示ランプが点灯します。その後は人を感知しても表示ランプは点灯しません。



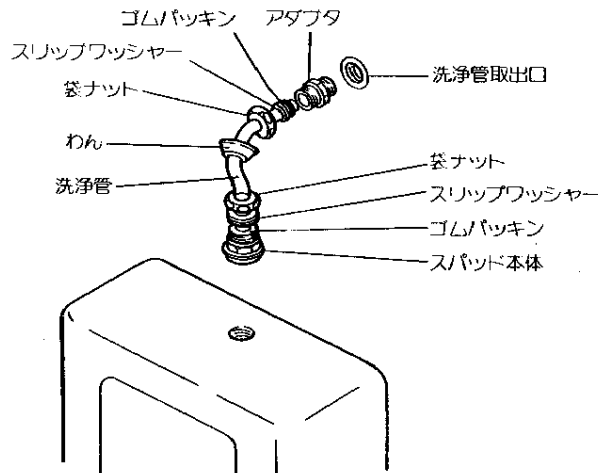
13 光電センサ付カバーの取付け

センサ台の永久磁石に、光電センサ付カバーをしっかりと吸着させます。



14 洗浄管の取付け

- ① 洗浄管取出口のプラグを外しアダプタをねじ込みます。
- ② アダプタと小便器スパッド間を洗浄管で接続します。



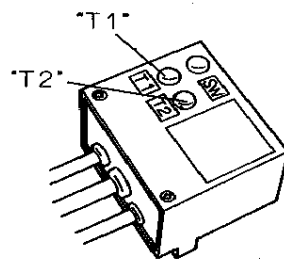
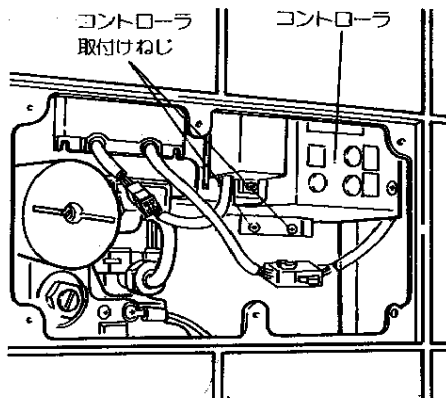
15 取付完了後の確認

配線、配管に間違いがないことを確認後、通水、通電し、通常の使用状態(作動のしくみ参照)で作動するかどうか確認します。
このとき、各部に漏水のないことを確認してください。

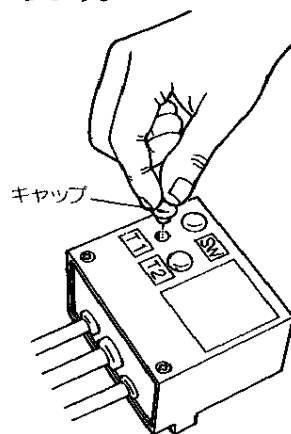
● タイマの設定 (タイマは、本洗浄タイマ(T1)を5秒、前洗浄タイマ(T2)を0秒に工場で設定して出荷しております。必要に応じて次の要領で設定してください。)

設定方法

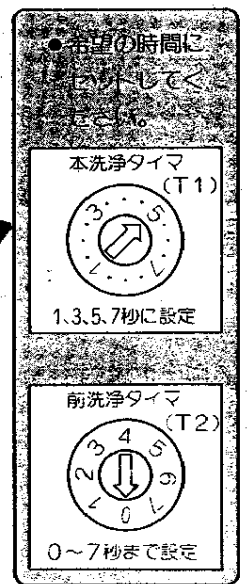
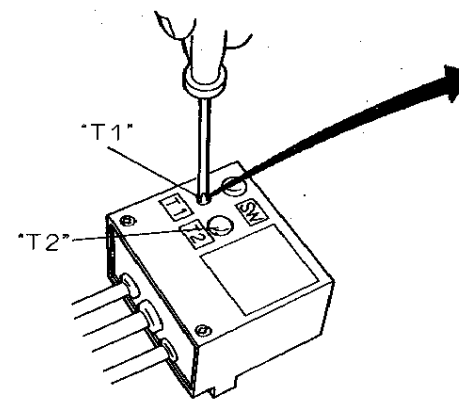
- ① コントローラ取付ねじ(2本)をはずしてコントローラをボックスから取出します。



- ② コントローラのT1・T2のボリュームのキャップを取ります。

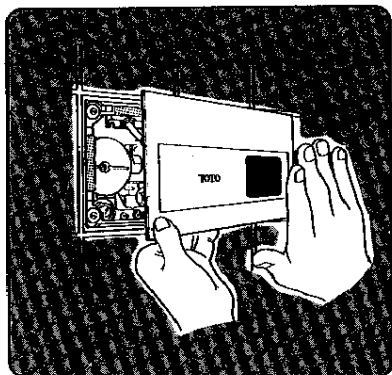


- ③ ①ドライバーで図のように希望の時間にタイマを設定します。



●水量・水勢の調節

センサの前を図のように手で覆い約10秒間経過後手をはなしてフラッシュバルブを作動させ、最適な水量で約10秒間洗浄するよう次の調節をしてください。



●水勢の調節

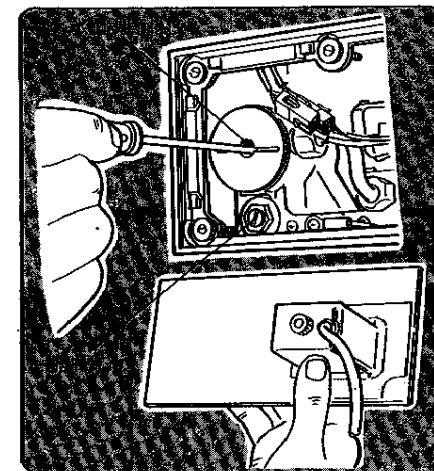
開閉ねじを水勢が強いときは右に、弱いときは左に回してください。

●水量の調節

水量調節ねじを水量が多いときは右に、少ないときは左に回してください。

【ご注意】

●調節の際は、カバーを必ず片手で保持してください。



●感知距離の調節

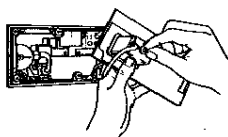
●コントローラのリセットスイッチ(SW)を押してから調節してください。

感知時感知表示ランプが数分間だけ点灯します。調節中に感知表示ランプが点灯しなくなった場合、再びリセットスイッチを押してください。

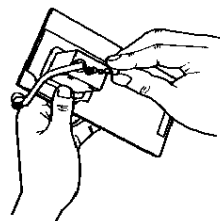
※コントローラの取出し方法は“タイマの設定”の項を参照ください。

※感知距離は工場で調節後出荷しておりますので通常は調節不要ですが、万一通常の使用状態で感知しなかったり、対向壁等を感知してしまうときは次の要領で調節してください。

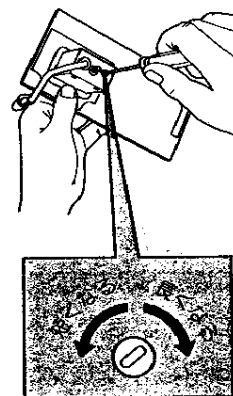
●センサ取付板を外す。



●ボリュームのキャップを取る。



●ドライバーで感知距離を調節する。



①感知しない場合(感知表示ランプが点灯しない)

●感知距離調節ボリュームを右に回す。

②感知しつばなしの場合(感知表示ランプが消灯しない)

●感知距離調節ボリュームを左に回す。

【ご注意】

●感知距離調節ボリュームは少しずつ回して調節してください。

●ボリュームには無理な力を加えないでください。

●感知距離を必要以上に長くすると誤動作の原因になりますので必要最小限度としてください。

●調節の際はカバーを必ず片手で保持してください。

